



2026年5月14日

各 位

会社名 株式会社リログループ  
代表者名 代表取締役CEO 中村 謙一  
(コード: 8876 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役CFO兼CIO 門田 康  
(TEL 03-5312-8704)

## 株主還元に関する基本方針の変更および剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2026年5月14日開催の取締役会において、2026年3月31日を基準日とする株主還元に関する基本方針の変更および、剰余金の配当について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 配当方針の変更

##### (1) 変更の理由

当社はこれまで、株主還元を経営の重要課題の一つと認識し、配当性向 35%を目安として継続的かつ安定的な配当を行ってまいりました。今回、中期経営計画「第四次オリンピック作戦」期間中(2026年3月期~2029年3月期)における財務目標の一つとして設定している ROE について、従来掲げていた 20%以上の目標を、資本効率の更なる向上を図る観点から 25%~30%へ引き上げることといたしました。これを踏まえ、ROE 向上に向けた資本政策の一環として、株主還元のより一層の充実を図ることとし、配当性向を 50%へ引き上げるとともに、自己株式の取得を含めた総還元性向 60%を目安とする方針を新たに導入いたしました。また、株主の皆様への利益還元の機会を拡充し、より安定的な配当を実施する観点から、新たに累進配当を基本とすることに加え、中間配当を導入し、期末配当とあわせた年2回の配当を実施する方針といたしました。

なお、当社の定款(第42条)におきましては、取締役会の決議によって毎年9月30日を基準日として中間配当を行うことができる旨を定めております。

##### (2) 変更の内容

###### ・変更前

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営における重要課題の一つとして考え、35%前後の配当性向を目安として連結業績に連動した配当とすることを基本方針としております。

###### ・変更後(下線部が変更内容)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営における重要課題の一つとして考え、中期経営計画「第四次オリンピック作戦」期間中(2026年3月期~2029年3月期)においては、50%前後の配当性向を目安として連結業績に連動した配当を基本とし、配当は中間配当および期末配当の年2回とすることに加え、累進配当<sup>\*</sup>を基本方針といたします。また、機動的な自己株式の取得を含め、総還元性向 60%前後を目指してまいります。

<sup>\*</sup>原則として年間配当の維持もしくは増配を行う配当政策。

### (3) 適用時期

本方針は、2026年3月期期末配当から適用いたします。

## 2. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2025年5月8日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	2026年3月31日	2025年3月31日
1株当たり配当金	69円00銭	49円00銭	42円00銭 (普通配当38円00銭) (特別配当4円00銭)
配当金総額	10,450百万円	—	6,286百万円
効力発生日	2026年6月25日	—	2025年6月26日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

## 3. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営における重要課題の一つとして考え、中期経営計画「第四次オリンピック作戦」期間中(2026年3月期～2029年3月期)においては、従来の配当方針を変更し、50%前後の配当性向を目安として連結業績に連動した配当を基本方針といたします。また、配当は中間配当および期末配当の年2回とすることに加え、累進配当を基本方針とすることで、安定的かつ継続的な利益還元を図ってまいります。

当期は、福利厚生事業における会員数や、借上社宅管理事業や賃貸管理事業における管理戸数などのストック基盤が堅調に積み上がったほか、ホテル運営や不動産仲介などフロー収益も伸張したことなど、当社グループの各事業が順調に推移したことにより、営業利益で過去最高益を更新いたしました。

これらの状況を踏まえ、2026年3月期期末配当金につきましては、2025年5月8日に公表した配当予想である1株当たり49円を上回り、1株当たり69円とすることといたしました。

(参考)

年間配当金の内訳

基準日	1株当たりの配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	0円00銭	69円00銭	69円00銭
前期実績	0円00銭	42円00銭	42円00銭

以上